

## 【報告】

## 2017年 学友会総会報告(松江)

実行委員長 宮原 善徳(短3回生)

緑眩しい2017年5月13日、山陰地方では初めての開催となる京都医療科学大学学友会総会が日本海、宍道湖、中海に囲まれた水の都、島根県松江市(ニューアーバンホテル)で開催されました。交通において不便な開催地であったにもかかわらず、総勢68名(懇親会67名)にご参加いただきました。

総会は、錦成郎氏(54回生)の司会進行のもと開始され、初めに物故者への黙祷に続き、神澤学友会会長からは、学友会の歴史や今後の運営について、遠藤啓吾学長からは、大学の現況や今後の運営および新校舎完成のご報告をいただきました。続いて学友会への功績を称え、功労賞が藤田透氏(45回生)、椿洋二郎氏(48回生)、宮本要一氏(49回生)に、感謝状が田中庸二氏(44回生)に贈呈されました。その後、議長に藤原秀司氏(短7回生)を選出し、すべての議案は承認されて総会は滞りなく終了しました。

講演会では、講演・高座を企画し、第一部を春雨や落雷(はるさめやらくらい) 真打による「江戸古典落語」を、着物からスーツへ着替えられた後「笑いの免疫効果」と題しての第二部が開始されました。講師の安部正之先生(医学博士:形成外科医)は、日本で唯一の医師免許をもつ真打の落語家として知られています。“笑い”によってナチュラルキラー(NK)細胞が活性化され、がん細胞を死滅させる効果が論文

で証明されていることや、日常においてもあまり几帳面になりすぎず、“いい加減”くらいで生活することが健康保持の秘訣であること等々、大変有意義なご講演でした。先生のモットーは、“一日五笑”。最後に参加者全員による“大笑い”によって講演会を締めくくりました。

“笑い”に続いて懇親会では、宍道湖が一望できる大広間において、椿氏による乾杯の発声で開宴しました。今回は、ご夫婦での参加もあり、ご婦人達も宍道湖七珍など四季折々の郷土料理と美酒を堪能されていました。宴では、晴れて市議会議員になられた先輩や、学会の大会長を務められる先輩から挨拶をいただきました。皆、先輩後輩の垣根



なく親睦を深め、同門の絆はより一層強固なものとなりました。同級生の参加も非常にありがたく感謝、感謝です。宴も終わりにさしかかり、五明田祥司氏(47 回生)の一本締めでお開きとなりました。

最後に、総会の開催に際しまして多大なるご支援、ご協力を賜りました関係各位の皆様にご心より御礼申し上げます。次回は本部開催です。2 年後にお会いできることを楽しみにしております。



以上

---

\* 通巻 224 号 2017 年 7 月 10 日発行(H29-No.2)より